



JAPAN CYCLING FEDERATION PRESS RELEASE

2023年8月8日

報道関係各位

公益財団法人 日本自転車競技連盟
事務局

2023 UCI 世界選手権 DAY-5 大会結果

公益財団法人日本自転車競技連盟（以下、JCF）は、2023年8月3日から13日に開催されている『UCI 自転車世界選手権大会』イギリス・グラスゴー大会 DAY-5（8月7日）の成績を発表致します。

【DAY-5 : 8/07（月）】

■トラック

女子マディソン（決勝）、男子エリミネーション（決勝）、女子スプリント（予選、1回戦）

■トラックパラサイクリング

男子Bスプリント、男子C2 1km タイムトライアル、女子C3 500m タイムトライアル

写真



(男子C2 1kmTT 川本翔大)



(男子C2 1kmTT 表彰台)



(女子C3 500mTT 杉浦佳子)



(女子C3 500mTT 表彰台)



(女子スプリント 佐藤水菜・太田りゆ)



(女子スプリント 梅川風子)



(男子エリミネーション 橋本英也)



(女子マディソン 梶原悠未・内野艶和)



(男子Bスプリント 木村和平/三浦生誠)

OFFICIAL SPONSOR



OFFICIAL SUPPLIER





JAPAN CYCLING FEDERATION PRESS RELEASE

リザルト

■トラック、パラサイクリング・トラック

【女子スプリント（予選）】200m フライングスタート（3.5 周）

1 位	FINUCANE Emma（イギリス）	10.234
2 位	CAPEWELL Sophie（イギリス）	10.309
3 位	FRIEDRICH Lea Sophie（ドイツ）	10.397
16 位	佐藤水菜（日本）	10.834
17 位	太田りゆ（日本）	10.856
21 位	梅川風子（日本）	10.894

【女子スプリント（1 回戦）】250m x 3 周

1 位	van der WOUW Hetty（オランダ）	
2 位	梅川風子（日本）	+0.129

1 位	佐藤水菜（日本）	
2 位	太田りゆ（日本）	+0.092

佐藤、太田、梅川の 3 名で臨んだ日本代表は、揃って予選を通過したが、梅川は 1 回戦で敗退。日本人対決となった佐藤と太田は、佐藤が先着して 2 回戦に進出、太田は 1 回戦敗退となりました。

【男子エリミネーション（決勝）】

1 位	VERNON Ethan（イギリス）	
2 位	BIBIC Dylan（カナダ）	
3 位	VIVIANI Elia（イタリア）	
13 位	橋本英也（日本）	

アジアチャンピオンとして臨んだ橋本英也でしたが、全体の 13 位でレースを終えました。

【女子マディソン（決勝）】30km（250m x 120 周）

1 位	EVANS Neah/BARKER Elinor（イギリス）	28 ポイント
2 位	BAKER Georgia/MANLY Alexandra（オーストリア）	25 ポイント
3 位	BERTEAU Victoire/COPPONI Clara（フランス）	22 ポイント
8 位	梶原悠未/内野艶和（日本）	5 ポイント

梶原・内野ペアは、レース終盤に貴重な 5 ポイント獲得して、全体の 8 位でフィニッシュしました。

OFFICIAL SPONSOR



OFFICIAL SUPPLIER





JAPAN CYCLING FEDERATION PRESS RELEASE

【男子 C2 1km タイムトライアル予選】

1 位	LEAUTE Alexandre (フランス)	1:09.229
2 位	川本翔大 (日本)	1:11.085
3 位	ALLAN Gordon (オーストリア)	1:11.521

【男子 C2 1km タイムトライアル決勝】

1 位	LEAUTE Alexandre (フランス)	1:09.947
2 位	川本翔大 (日本)	1:10.700
3 位	ALLAN Gordon (オーストリア)	1:11.445

川本は予選を2位で通過して、決勝ではその予選のタイムを上回る快走を見せたが、僅かに届かずこの種目2位銀メダルとなりました。

この結果、4種目の合計ポイントで争われるオムニウムでは、総合ポイントを132ポイントと伸ばして、こちらも総合2位銀メダル獲得となりました。

【川本選手のコメント】

「銀メダルは率直に嬉しいです。ですが、個人パシュートで銅メダルでしたので、また新たに課題が見つかったと思います。この後、ロードが控えていますので、しっかり狙えるところは狙って、トラックでメダルを獲れた良い流れをロードにもつなげて行きたいと思います。」

【沼部コーチのコメント】

「川本選手の走り（タイム）は、世界では絶賛されています。今日も2～4ラップのタイムは1番速かったです。ですが、川本選手は片脚ですので、どうしても1ラップ目のタイムが両脚の選手より劣ってしまいます。片脚しかない選手では、川本選手が世界で一番速いのです。日本のみなさんにも、川本選手の凄さを知って頂けたらと思います。」

【女子 C3 500m タイムトライアル】

1 位	杉浦佳子 (日本)	39.184
2 位	van den AARSSSEN Aniek (オランダ)	40.086
3 位	PEMBLE Mel (カナダ)	41.404

唯一40秒を切るタイムと叩き出した杉浦が1位となり、今大会、個人パシュートに次ぐ2つ目の金メダルを獲得しました。

【杉浦選手のコメント】

「今大会のバンクは少し苦手なタイプでしたので、伊豆ベロドロームでの自己ベストをターゲットに、目標を39秒5としていました。自分としては最高に結果になったと思います。自分はトラックには向いていないと思っていましたので、こういう結果になったのは最初から丁寧に教えてくれたコーチ陣に恵まれたからだだと思います。」

OFFICIAL SPONSOR



OFFICIAL SUPPLIER





JAPAN CYCLING FEDERATION PRESS RELEASE

【男子 B スプリント 7-8 位決定戦】

1 位 (7 位) MERONI STEFANO / FRANCESCO CECI (イタリア)

2 位 (8 位) 木村和平/三浦生誠 (日本)

+0.550

7-8位決定戦にまわった木村・三浦ペアは、イタリアに敗れて全体の8位でレースを終えました。

■ BMXフリースタイルパーク

写真

※画像を入手できた場合、掲載の上、再送致します。

リザルト

男子フリースタイルパーク (決勝)

1 位	REILLY Kieran (イギリス)	95.80 ポイント
2 位	MARTIN Logan (オーストリア)	95.30 ポイント
3 位	BRUCE Nick (アメリカ)	93.90 ポイント
4 位	中村輪夢 (日本)	91.87 ポイント
15 位	小澤楓 (日本)	74.20 ポイント

男子フリースタイルパーク決勝は予選の上位 24 名で争われた。前年優勝の中村は、91.87 ポイントで全体の 4 位、2 連覇とはならなかった。小沢は 74.20 ポイント、全体の 15 位で大会を終えました。

OFFICIAL SPONSOR



Cyclers



AEON



Q365

ABSOLUTELY EQUIPMENT

NIPPO



マスク
レオナルド

SPEED

TSP

笑顔道

TSP



OFFICIAL SUPPLIER



競輪の補助事業



JAPAN CYCLING FEDERATION PRESS RELEASE

■ DAY-6 (8月8日) 日本代表の参戦スケジュール

・BMX

フリースタイルフラットランド (男子予選・女子予選)

・トラック

男子マディソン (決勝)、女子ポイントレース (決勝)、男子ケイリン (1回戦)、女子スプリント (2回戦、準々決勝)

【参考URLなど】

2023UCI自転車世界選手権大会公式HP : <https://www.cyclingworldchamps.com/>

JCF公式HP : <https://jcf.or.jp/>

本件に関するお問い合わせ :

公益財団法人日本自転車競技連盟 事務局

URL:<https://jcf.or.jp/contact/>

OFFICIAL SPONSOR

Rakuten
Kドリームス

Cyclers



AEON



Q36.5
ABSOLUTELY EQUIPMENT

NIPPO



ナスケン
システムズ

SPEED
TRIAL

TSP

笑顔道

KEIRIN

OFFICIAL SUPPLIER

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

vittoria



CRAMERPRE
FOR PROFESSIONAL ATHLETES

伊藤超短波

RICCAL



KINESIO TAPING
ASSOCIATION

WAKOS



MI Factory

競輪の補助事業